

高浜市総合計画審議会（第2回） 会議録			
日時	平成29年6月27日（火）午後7時～8時30分		
場所	高浜市役所 3階 議場（多目的ホール）	傍聴人数	3名
出席者	委員	中川幾郎、宮田克弥、伊藤詠子、神谷久美子、菅野洋一、後藤恵理、酒井幸代、杉本ゆかり、鈴木幸利、田代峯子、都築一彦、中村みどり、横山英樹、神谷坂敏 (14名出席)	
	行政	市長 吉岡初浩 教育長 都築公人 総務部長 内田徹 市民総合窓口センター長 大岡英城 福祉部長 加藤一志 こども未来部長 中村孝徳 都市政策部長 深谷直弘 議会事務局長 加藤元久 財務グループ リーダー 岡島正明 文化スポーツグループ リーダー 鈴木明美 学校経営グループ リーダー 内藤克己 学校経営グループ 主幹 村越茂樹 こども育成グループ リーダー 都築真哉 地域産業グループ リーダー 板倉宏幸 市民生活グループ リーダー 芝田啓二 都市整備グループ リーダー 田中秀彦 都市防災グループ リーダー 神谷義直 地域福祉グループ リーダー 木村忠好 保健福祉兼生涯現役まちづくりグループ リーダー 磯村和志 人事グループ リーダー 杉浦崇臣 税務グループ リーダー 山下浩二 行政グループ リーダー 山本時雄 企業支援グループ リーダー 島口靖 上下水道グループ リーダー 杉浦睦彦 介護保険・障がいグループ リーダー 竹内正夫 福祉まるごと相談グループ リーダー 野口真樹 (26名出席)	
	事務局	企画部長 神谷美百合 総合政策グループ リーダー 野口恒夫 同 主幹 榊原雅彦 同 主事 稲垣翔太 同 主事 高須春奈 同 主事 川合晃三 (6名出席)	

<p style="text-align: center;">次 第</p>	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議題</p> <p>1) 後期基本計画 冊子構成(案)について</p> <p>2) 後期基本計画 フォーマット(案)について</p> <p>3) 後期基本計画 施策構成(案)について</p> <p>4) 後期基本計画 策定基本方針について</p> <p>5) 中期基本計画「施策課題カルテ」について</p> <p>3 その他</p> <p>1) 平成29年度市民意識調査結果について</p>
<p style="text-align: center;">資 料</p>	<p>資料1：高浜市総合計画審議会(第1回)議事録</p> <p>資料2：後期基本計画 冊子構成【案】</p> <p>資料3：後期基本計画 フォーマット【案】</p> <p>資料4：後期基本計画 施策構成【案】</p> <p>資料5-1～5-4：後期基本計画 施策(目標)構成 検討報告【基本目標I～IV】</p> <p>資料6：平成29年度「市民意識調査」「小・中学生アンケート」の実施概要について</p>

## 1. あいさつ

- 会 長： ・ただ今より第2回高浜市総合計画審議会を開会する。  
・前は第1回目の会議ということで、職員のみなさんから「施策課題カルテ」に基づいて、中期基本計画の3年間を振り返り、これまでの取り組みから見えてきた課題や、その課題を踏まえて、今後、高浜市において特に力を入れていく取り組みについて発表いただき、委員の皆さまに現状把握をしていただいた。  
・本日は、前半で、後期基本計画の冊子構成や、計画内容を記載するフォーマットの検討を行い、後半では、後期基本計画の施策（目標）構成（案）について、個別目標ごとのとりまとめグループリーダーから発表をしていただき、委員のみなさんのご意見を頂戴する。

## 2. 議題

### 1) 後期基本計画の冊子構成（案）について

- 会 長： ・それでは、議題1に入る。事務局より説明をお願いしたい。  
行 政： <資料2に基づき説明>  
会 長： ・ただいま事務局から説明のあった内容について、ご意見・ご質問があればお願いしたい。  
<意見・質問等なし>  
会 長： ・それでは、「後期基本計画 冊子構成（案）について」、原案のとおりとすることでご異議ないか？  
<異議なしの声>  
会 長： ・「ご異議なし」とのことであるため、原案のとおりとする。

### 2) 後期基本計画のフォーマット（案）について

- 会 長： ・それでは、議題2に入る。事務局より説明をお願いしたい。  
行 政： <資料3に基づき説明>  
会 長： ・ただいま事務局から説明のあった内容について、ご質問などがあればお願いしたい。  
<意見・質問等なし>  
会 長： ・それでは、「後期基本計画 フォーマット（案）について」、原案のとおりとすることでご異議ないか？  
<異議なしの声>  
会 長： ・「ご異議なし」とのことであるため、原案のとおりとする。

### 3) 後期基本計画の施策構成（案）について

- 会 長： ・それでは、議題3に入る。事務局より説明をお願いしたい。  
行 政： <資料4に基づき説明>  
会 長： ・ただ今事務局から、後期基本計画の施策構成（案）の概要を説明いただいた。  
・中期では、「大家族たかはま」の実現に向け、4つの基本目標のもと、個別

目標を11の分野に分けて取り組みを進めてきた。そして、後期の施策構成の枠組みについて行政で検討した結果、「後期では目標構成の統合や分割、新規分野の目標を立てることなどはせず、そのまま引き継いでどうか」とのご提案である。

・これから、個別目標1つずつ、構成を現行どおりとした理由や考え方について、各目標のとりまとめグループリーダーから発表をしていただく。

・では、資料5-1、基本目標Ⅰ（個別目標1・2）の発表をお願いしたい。

行政： <目標（1）の説明>

行政： <目標（2）の説明>

会長： ・それでは、個別目標（1）についてご意見・ご質問があればお願いしたい。

委員： ・施策構成は中期を引き継ぐとのことであるが、「目標達成に向けての考え方」や「こんなことに取り組みます！」は見直されるのか。

行政： ・見直す。今後は市民の意見を取り入れながら行政でたたき台を作り上げ、審議会にお諮りしていく。

会長： ・続いて、個別目標（2）についてご意見・ご質問があればお願いしたい。

委員： ・財政運営について市民の関心が高いとのことだが、この結果を踏まえ、後期計画の中にどういったアクションを入れ込んでいくか。

行政： ・市の財政状況を市民の方に分かりやすくお伝えするため、今は中学生でも分かるような分かりやすい部分のみをピックアップしてホームページに掲載している。また、市民の方がどういったことに疑問を持っているのかといったことを探りながら、Q&Aのような手法で広報紙でうまくお伝えできるように考えている。

会長： ・では、基本目標Ⅰ（個別目標1・2）の施策構成については、原案のとおりとする。

・続いて、資料5-2、基本目標Ⅱ（個別目標3~5）の発表をお願いしたい。

行政： <目標（3）の説明>

行政： <目標（4）の説明>

行政： <目標（5）の説明>

<目標（3）・（4）意見・質問等なし>

会長： ・続いて、個別目標（5）についてご意見・ご質問があればお願いしたい。

委員： ・地域ぐるみという言葉は漠然としているので、明確な言い方に変更してはどうか。

行政： ・地域という言葉はいろんな主体がある。今後絞っていけるのかどうか、作成しながら検討していきたい。

会長： ・目標（3）と（5）にこの言葉が出てくるので双方で調整してほしい。

・市民意識調査の設問に“地域ぐるみ”というフレーズが出てくるので、そこも精査を要する。

・では、基本目標Ⅱ（個別目標3~5）の施策構成については、原案のとおりとする。

・続いて、資料5-3、基本目標Ⅲ（個別目標6~9）の発表をお願いしたい。

行政： <目標（6）の説明>

行政： <目標（7）の説明>

行政： <目標（8）の説明>

行政： <目標（9）の説明>

会長： ・それでは、個別目標（6）についてご意見・ご質問があればお願いしたい。  
<意見・質問等なし>

会長： ・続いて、個別目標（7）についてご意見・ご質問があればお願いしたい。  
・指標「環境美化推進員の人数」は目標値を超えており、後期では廃止を検討  
とのことだが、指標を減らすだけなのか、新たな指標を設定するのか。

行政： ・今のところこれに代わる指標を設ける予定はないが、今後市民の方の声を伺  
いながら検討していきたい。

会長： ・続いて、個別目標（8）についてご意見・ご質問があればお願いしたい。  
<意見・質問等なし>

会長： ・続いて、個別目標（9）についてご意見・ご質問があればお願いしたい。

委員： ・指標で「災害への備えができていると思う人の割合」とあるが、個人の考え  
方によってばらつきが出るので、もう少し具体的な指標への見直しを要す  
る。

行政： ・今回当指標は下がったが、その要因分析をグループで進めている。その分析  
を踏まえて見直していく。

会長： ・例えば「総合防災訓練に参加したことがある人の割合」といった実態的な設  
問の方がいいのではないかとといった意見であると解釈する。  
・では、基本目標Ⅲ（個別目標6～9）の施策構成については、原案のとおり  
とする。  
・続いて、資料5－4、基本目標Ⅳ（個別目標10・11）の発表をお願いし  
たい。

行政： <目標（10）の説明>

行政： <目標（11）の説明>

<目標（10）・（11）意見・質問等なし>

会長： ・では、基本目標Ⅳ（個別目標10・11）の施策構成については、原案のと  
おりする。  
・本日は、後期の施策（目標）構成と、基本計画のフォーマットが決まったの  
で、職員のみなさんにおかれては、この施策（目標）構成をもとに、「目標  
達成に向けての考え方」や「こんなことに取り組みます！」など、計画内容  
の具体的な検討を進めていただきたい。  
・9月5日に開催する第3回審議会では、計画素案の検討状況について、発表  
していただく。

### 3. その他

会長： ・では、「その他」ということで「市民意識調査結果について」、事務局から報  
告をお願いしたい。

- 行政： <資料6に基づき説明>
- 会長： ・ただいまの事務局からの報告について、ご質問があればお願いしたい。
- 委員： ・設問が漠然としていて分かりにくい。含みがありすぎてどう考えたらいいのか分かりにくい。この結果にあまり捉われない方がよい。11年間の最終的な目指す姿があると思うが、それにどのくらい近付いているかというのを、この目標のフレーズでは測れないと思うので、設問の聞き方を工夫されたい。
- 委員： ・主観が入るような指標と見比べてしまうと、見方が偏りすぎてしまうおそれがある。まちづくりが非常に進んでいると言う人もいれば、いやまだまだと言う人もいる。それをどう評価するかは、単純にこの調査だけでは出てこない。
- 行政： ・委員のご意見はごもっともであるので、ご意見を踏まえて調査の仕方を考えていく。
- 会長： ・意識調査・行動調査・結果調査が混在しているから、聞かれている市民の方にとっては、意識を聞かれているのか行動を聞かれているのか混乱させてしまっているのかもしれない。
- 委員： ・一度調査に答えた方に再度、その方の意識がどう変わったかを測る調査を行うことは可能か。
- 会長： ・それをやろうとすると、本人の了承を得て登録してもらい、定点観測するしかない。
- 委員： ・では、最後に、委員のみなさまから、おひとりずつ行政の発表を聞いての感想や、全体の感想などご発言いただきたい。
- 委員： ・私の周りの人には市のことや総合計画自体知らない人も多い。例えば、防災訓練でも周りはタオル掛けをしておらず、サイレンが鳴って今日が防災訓練だと知る人も多い。“まずは市のことを知ってもらおう”すべてはそこからスタートすると思う。
- 委員： ・もう少しボランティアにみんなが関わられるような仕組みができたらと思う。クラウドファンディングという手法があるが、市は財政にゆとりがあるわけではないので、何かものを作る時にも「名前を入れられますよ」といった声掛けをしてみてもいいのではないか。自分の名前が後世に残るものに使われたら非常にいいと思う。
- 委員： ・抽象的な記載が多く、例えば高浜カリキュラムなど、おおむね決まっていることは発表していてもいいと思う。
- 委員： ・いろんな事業に参加しているが、まちづくりの機運の高まりをあまり感じられない。まちをよくしよう、参加しようという人をいかに市民と行政が一緒に作っていくかが課題だとつくづく感じる。
- 委員： ・基本計画フォーマットいい形になったと思う。PDCAをしっかりと回していけばいい結果が出ると思う。
- 委員： ・町内会・まち協を核とした地域防災力の強化に取り組んでいきたい。
- 委員： ・フォーマットにしても施策構成にしても、次に出てくるのが非常に重要である。合体すべき分野もあるのかもしれないが、その中身が今は見えないのでコメントできない。

- ・“中期も引き継ぐ”という理由が「指標が下がっているから」では、11年間全く同じになってしまう。それは理由ではない。例えば“本当にこれを継続していかないと高浜市がおかしくなってしまう”というような理由を考えてほしかった。
- 委員： ・産業・観光や防災関係に関わっているが、マイナスのイメージがとても大きく、目標設定はしてあるものの、現実現場で動いている環境というのはとても低いものがある。アンケート調査の中で市民の方が感じている部分と、現場で動いている部分のギャップがとても大きいと感じているので、実感として感じられるような数値指標だったり環境になるといい。
- 委員： ・机の上で考えるだけではダメで、行動を起こさないといけないと思った。ボランティアなども行政から言われて出ることが多いが、ボランティアは自発的に行うものだと思うので、市民の方が自発的に行動できるよう、意識を変えていけるような計画になるといい。
- 委員： ・「こんなことに取り組みます！」が抽象的なので、市民の方がイメージできやすいような書きぶりにすると、具体的にどんなことをすればいいのかが伝わると思う。
- 委員： ・どの目標も継続とのことだが、同じことを繰り返すのは悪いことではなく、繰り返すとどこかで変化が出て進化が生まれる。同じ目標に向かって後期を進める中で、ぜひ進化を見つけてほしいと思う。それがまた明確に表現され、市民にも伝わってくるといい。
- 委員： ・回収率が低いのが残念。子どものいる保護者に配られたらもっと回収率が上がると思う。
- 委員： ・市民の方の市への無関心は非常に危惧している。若い方がこのまま無関心だと将来の高浜市が心配。若者を中心とした会議を立ち上げたいと思っている。
- ・ICT教育はやっていかないと将来教育の格差が出てくるので、今後4年間しっかり取り組んでいく。
- 会長： ・委員よりいただいたご意見に対してコメントをしていきたい。
- ・個別の計画や施策に関して、は情報公開の時代から情報共有の時代に移った。それぞれの当事者に直接送るという手法に変えたらと思う。総合計画は全ての分野にまたがるため一番知られていない計画である。総合計画を知ってもらうには、職員が地域に出向いて、“我々はこの総合計画に基づいて行動している”ということを説明すること。職員が計画は計画、私は私という考えではダメ。そういった訓練をしていくことが大事。市民は、職員を友達にするぐらいの獰猛さを発揮してほしい。市民と行政の壁を壊すような行動する市民であれ。
  - ・ボランティアとして、退職したが資格を持っている弁護士・行政書士などを発掘する。それには地域の方で、口コミで発掘するしかない。
  - ・各分野に関連する中位計画を、基本計画の各ページに脚注として付記すべき。
  - ・計画というのは現状値の計測をしながら企画をしていくもの。数字の方が重たくなってしまって夢よりも大きくなっていないか。その数字を見た上でこう変えたといったパワーのある文章がほしい。

- ・産業と観光をくっつけているが、観光に連動する指標が必要ではないか。指標も産業・観光と並列して書いてもいいのでは。
- ・市民に気づきを与えるような記述、質的变化につながるような記述、“後期はここがステップアップした”といった記述がほしい。
- ・最後に事務局から何かありましたら、お願いします。

行 政： <たかはま未来カフェのご案内>

- ・次回第3回審議会は、9月5日（火）午後7時から開催する。

会 長： ・では、これもちまして、第2回総合計画審議会を終了します。